

Makuhari's Memory

仲間と過ごした9日間

令和5年1月30日から2月7日までの9日間、「政策企画」研修に参加し、全国から集まった45名の仲間と共に大変有意義な時間を過ごしました。

参加前から、事前課題やレポートなどの準備があり、不安と期待を胸に当日を迎えました。滞在中は、朝から夕方まで講義やグループ討論があり、夜間と土日は自主研究を行いました。図書館などの施設が充実しており、学習や資料収集に役立ちました。他の研修生が真剣に課題に向き合っている姿にも大いに刺激を受けました。

私がこの研修で何より大切に感じたことは、グループ討議で全員の意見を尊重しながら理解し合おうと努める、合意形成までの過程（プロセス）です。完成した最終成果品は、全員が納得するものとなりました。

夜の部（交流会）では、酒類の販売に一部制限はありましたが、各自グラスを傾けながら、お国自慢や趣味の話など、活発な交流が行われました。普段は本音が言え

ないタイプの人でも、ここでは心を開き、打ち解けることができていたようです。同じ思いを持っている者同士、自然と心が通い合うのだと思います。

また、電話1本、メール1通で全国の仲間と情報交換のできる関係性を構築できた事もすばらしい財産です。アカデミーでの刺激的な経験が、この先も生きていくと感じています。同期の皆さん、ありがとうございました。



河原 功

公益財団法人
ふくしま自治研修センター
教務部主幹
〈受講研修科目〉
政策企画
第36期第1組（令和4年度）